

令和7年度 東京都立八王子東高等学校 学校経営計画

校長 山本 勇

1 目指す学校

(1) スクールミッション

変化するグローバル社会において活躍できる生徒を育てます。各教科の学習や国際交流、論文作成などの探究的な学びを通じて身に付けた知識や技能を活用する力を養うとともに、文理を融合した思考力・判断力・表現力を育み、これからの社会において他者と協働して課題解決ができる人材を育成します。

(2) スクールポリシー

【グラデュエーション・ポリシー】

- ① 人間尊重の精神を基調とし、心身共に健康で知性と感性に富み、思いやりと規範意識のある生徒
- ② 変化するグローバル社会において活躍できる生徒
- ③ 自ら進んで学習することができる生徒
- ④ クリティカルシンキングやクリエイティブシンキングに基づいた意志決定や問題解決が適切にできる生徒
- ⑤ 効果的なコミュニケーションスキルを身に付け、適切な対人関係を築くことができる生徒
- ⑥ 様々な事象に対して、積極的に挑戦する意思と意欲をもち行動することができる生徒

※育成したい8つの資質・能力

「協働力・実践力・想像力・思考力・判断力・創造力・人間理解力・意志決定力」

【カリキュラム・ポリシー】

- ① 探究的な学びを通して、身に付けた知識や技能を活用する力を養うとともに、思考力・判断力・表現力を育み、これからの社会において他者に対して、自分の考えを表明し、適切な行動を選択できる力をもつ生徒を育成する。
- ② 進学指導重点校として、大学入学共通テストに対応できる教育課程を編成し、難関大学への進学を目指す生徒を育成する。また、探究を中心とした様々な教育活動をととして、自分の意見をまとめて他者に伝える能力を高め、難関国公立大学への推薦入試にチャレンジする生徒の育成も合わせて行う。
- ③ 課題解決を視点においた探究活動を実施し、地域の企業や大学、研究機関等と連携を深め、コミュニケーション能力を高めることにより、思考を表現する力を伸長させるとともに、言語活動の充実を図る。
- ④ グローバル社会の中で生きる力を育むために、GE-NET20 指定校、海外学校間交流推進校として、英語4技能の育成や姉妹校交流や海外研修等を実施し、国際理解教育を推進する。
- ⑤ 組織的な教育相談体制を整えるとともに、教育におけるユニバーサルデザインを進める。発達障害に関する教員の理解を深め、特別支援教育コーディネーターの複数配置を継続し特別支援教育を推進する。
- ⑥ 体育行事や特別活動等を通して、運営の仕方、安全な活動の仕方を身に付けるとともに体力の向上に努める。

【アドミッション・ポリシー】

- ① 本校への入学動機が明確であり、入学後何事にも意欲的に取り組む生徒
- ② 本校の特色を理解し、それを活用して自ら学習を進める意欲を持つ生徒
- ③ 将来への目的意識をしっかりとち、学習意欲が旺盛で、将来社会においてリーダーとなる気概をもつ生徒
- ④ 中学校で学習した全教科において秀でており、さらに数理的能力、言語能力に優れている生徒
- ⑤ 学校行事、生徒会活動、部活動、ボランティア活動等に積極的に参加した生徒

2 中期的目標とその達成に向けた方策

- 「進学指導重点校」としての数値目標を安定的に達成するため、組織的な進路指導・学習指導を展開し、難関国公立大学等に合格できる総合的な学力を身に付けた生徒を育成する。
- 探究的な学びを定着させるため、各教科で協働的な学習活動を促進し、学校独自の探究系科目や各種探究活動の充実を図るとともに、探究的な学びの成果を生徒の希望進路実現にもつなげていく。
- 将来、国際社会で活躍できるグローバル人材を育成するため、外国語能力の育成や異文化理解、国際交流を推進するとともに、国内外における諸課題を解決する創造的・論理的思考力を育成する。
- 社会人としての規範意識や公共心を育むため、守るべきルールやマナーに関する生活指導や道徳教育を充実させるとともに、主権者教育を推進し、社会に貢献できる有為な人材を育成する。
- 安全・安心な学校生活を実現するため、生徒同士が互いの個性を尊重し合い、互いに高め合う雰囲気醸成するとともに、心身の健康維持や特別な支援に関する配慮等を適切に実施する。
- 募集・広報活動の充実を図るため、学校としての魅力や特徴を様々な場面で効果的に発信し、日常の教育活動に関する情報をタイムリーに提供することで、本校の良さを積極的にPRする。
- 組織的な学校経営を実現するために校内体制を整備するとともに、関係諸機関や地域、PTA・同窓会・後援会等との連携を図り、教育環境の充実に努める。
- 学校における働き方改革を推進するため、デジタル活用や会議の精選、各種校務の効率化を図ることで業務縮減を進めるとともに、教職員間の情報共有を円滑に行い、個に応じた教職員のライフ・ワーク・バランスの実現を図る。

3 今年度の取組目標とその達成に向けた具体的方策

(1) 進学指導重点校としての数値目標

- ◇ 難関国公立大学（東大・京大・一橋大・東科大・国公立医学部）合格者数＜現役 15 名以上＞
（R2 実績 15 名、R3 実績 9 名、R4 実績 16 名、R5 実績 16 名、R6 実績 12 名）
- ◇ 国公立大学合格者数＜現役 120 名以上＞
（R2 実績 112 名、R3 実績 103 名、R4 実績 112 名、R5 実績 119 名、R6 実績 122 名）
- ◇ 大学入学共通テスト受験者のうち 5 教科 7 科目型受験者数＜在籍 6 割(192 名/320 名)以上＞
（R2 実績 211 名、R3 実績 199 名、R4 実績 213 名、R5 実績 214 名、R6 実績 220 名）
- ◇ 大学入学共通テスト（5-7・6-7 型）全国平均上回り率 1.25 以上の得点者＜75 名以上＞
（R2 実績 66 名、R3 実績 52 名、R4 実績 52 名、R5 実績 69 人、R6 実績 73 名）
- ◇ 入学者選抜の最終応募倍率＜推薦：3.0 倍/一般：1.5 倍＞
（R4 実績 1.60 倍/1.22 倍、R5 実績 2.27 倍/1.31 倍、R6 2.03 倍/1.52 倍）

(2) 教育活動の目標と方策

① 学習指導

- 全ての生徒が、全ての教科・科目に全力で取り組み、幅広い教養と総合的な学力を身に付ける。
- ・各教科・科目の特性を踏まえて、生徒が自ら主体的に取り組む授業づくりを推進する。
- ・主要教科については、大学入学共通テストで 8 割以上を得点できる水準の授業を確立する。
- ・深い学びを実現するために、ICT の利活用や協働学習を取り入れた授業を展開する。
- ・教員相互の授業参観や生徒による授業評価等を活用して、継続的に授業の工夫・改善を図る。

② 進路指導

生徒一人一人の希望進路を実現し、進学指導重点校に求められる数値目標を達成する。

- ・全教員が３年間の進路指導計画を共有し、関係する生徒の進路実現を手厚くサポートする。
- ・進路指導部と学年、教科の連携を図り、最後まで「高い志」を完遂できる生徒を育成する。
- ・難関国公立大学等への進学を意識させ、国公立二次試験をピークとする受験指導を推進する。
- ・一般入試を基本としつつ、探究活動の成果を活かした総合型選抜等への挑戦も支援していく。

③ 探究活動・国際理解

探究活動を学びの軸に据え、グローバル社会を生き抜く思考力・判断力・表現力を育成する。

- ・探究部を中心に探究学習の内容や指導方法を深化させ、校内研修等で教職員の共通理解を図る。
- ・専門機関や外部との連携を活用し、生徒の知的好奇心を刺激する諸活動を充実させる。
- ・探究活動等の成果を内外での発表につなげ、各種コンテスト等にも意欲的にチャレンジさせる。
- ・グローバルな視野を広げるため、高雄高級中学との交流や海外研修旅行の一層の充実を図る。

④ 生活指導

基本的な生活習慣を確立させ、自他を尊重する、良識ある社会人としての自立を図る。

- ・社会人として守るべき基本的なルールやマナー、交通安全等に関する指導を継続的に実施する。
- ・多様な価値観を認め合う環境を構築し、いじめや問題行動を防止する指導を徹底する。
- ・生徒の体力向上と健康の保持増進を図り、薬物乱用防止等の健全育成に係る指導を実施する。

⑤ 特別活動・部活動

他者との協働や帰属意識を醸成し、互いに高め合う集団づくり、チームづくりを実現する。

- ・生徒会や委員会等における生徒の自律的な活動を促進し、自信をもてる生徒を育成する。
- ・各種学校行事等を通じて、生徒が協働して創り上げる喜びや達成感、成就感を体験させる。
- ・文武両道を念頭に、生徒が主体的に考え行動し、互いに高め合える部活動運営を実現する。

⑥ 安全・安心な環境づくり

生徒の心身にわたる健康・安全に十分配慮し、安全・安心な学校生活、学校環境を実現する。

- ・生徒一人一人の心身の健康維持を重視し、メンタルケアや自殺防止対策にも力を入れる。
- ・教育相談体制の充実を図るとともに、特別な配慮を必要とする生徒を適切に支援する。
- ・体罰等の服務事故を起こさない校内体制を整備し、危機対応や防災・安全教育の充実を図る。

⑦ 募集・広報活動

本校の良さや特徴、生徒の活躍の様子を積極的に情報発信し、志願者を増加させる。

- ・各種の情報メディアを有効活用し、最新の学校情報や生徒の活躍を適時・適切に発信する。
- ・学校説明会等では有志生徒による学校案内を実施し、生徒の生の声を広報活動に反映させる。
- ・体験的な募集活動を充実させ、外部説明会や塾訪問等の広報活動にも一層力を入れる。

⑧ 学校経営・組織体制

業務効率化を進め、教職員間の情報共有を図ることで、組織的で円滑な学校経営を実現する。

- ・各分掌主任等を中心とした組織運営と、正副担当者がサポートし合える業務体制を構築する。
- ・経営企画室と職員室が情報共有を図り、予算管理等を含めた適正な事務執行を実現する。
- ・教職員の働き方を改善し、個に応じた教職員のライフ・ワーク・バランスの実現を図る。